



平成27年1月1日発行

第12号

京田辺市観光ボランティア

ガイド協会 広報部編集

☎ 0774-68-2810

## 平成27年 新年を迎えて

あけましておめでとうございます。

京田辺市観光ボランティアガイド協会は今年で8年目を迎えました。昨年度はこれまでの基礎作りの時代を経て飛躍の年と位置付け、5期生の募集、自主企画の拡充、研修会や勉強会の充実を図り会員のレベルアップにも努めました。



残念ながら一般のガイド件数の伸び悩みや、企画のマンネリ化による参加人数の減少傾向はみられますが、玉露に親しむ行事は京都府のお茶振興の観光方針とも合致して、参加人数は一昨年に比べ大幅に増えました。時代にマッチした魅力的な企画へと見直していくことが必要な時期にきているように考えております。地域社会に入り込んで京田辺市の文化・歴史の発掘、伝播の機会を増やし、皆様のニーズを導き出すことに積極的に取り組んで行きます。

昨年度、5期生12人を迎えボランティアガイドも総勢30人を超える陣容となりました。従来のプロジェクトチームを土台にしながら機動的な組織への変革を併せて模索して行きます。

日本書紀編纂1300年が近づいており古事記・日本書紀関連のガイドも新たに企画してまいります。

従来から人気のイベントに加え、新たな企画の数々を、ポスター始めメディアを通して広報活動を活発に行い、京田辺市の観光行政にも寄与できるよう、市民の方々に京田辺の良さをアピールして行きたいと考えております。

(副代表 園上雅晴)

## 市民参画型研修会の開催

一昨年に続き観光学に詳しい京都産業大学上席客員研究員の中江好喜先生をお招きして市民参画型の研修会を2回にわたり実施しました。



中江好喜先生

第1回目は9月20日(土)に受講者47名で「仏像の話・パートⅡ」について講義を受けました。

大日如来の怒りの一面をあらわす「明王編」、仏教に帰依したインドの神々「天部編」を受けました。本年は京田辺市にある「五大明王」を巡るハイクをしたいと思っております。

第2回目は11月15日(土)に受講者48名が「陰陽から見た日本文化」について学びました。曆に

始まり天文・スポーツ・伝統文化と、日本文化全体に深く溶け込んだ陰陽の影響に驚きを覚えました。

受講者の声からも「日常の暮らしの中の文化を見直してみたい」とか、「神社・仏閣の見方が変わった」という声を戴きました。



降三世明王像

60代を中心に30代から70代まで幅広い年代層の方が、京田辺市内ばかりでなく京都府や大阪府からも参加頂きました。また次回の開催にも色々なテーマについて希望されました。

今年も皆様の要望を受けて、さらに興味深いテーマを取り上げた市民参画型の研修会を続けていきたいと思っております。

(新井)

## 管外研修

### 「継体天皇所縁の地 近江高島を訪ねて」

前回実施された管外研修「継体天皇所縁の地を訪ねて」(高槻市)第一部に続き第2部を、錦秋の平成26年11月18日に実施しました。参加者は3・4・5期生を中心に20名。京田辺市産業振興課の篠崎さんにも参加していただきました。

継体天皇の御母君振姫命を御祭神とする「水尾神社」、継体天皇擁立に大きく貢献したと考えられる「鴨稻荷山古墳」、継体天皇のへその緒が埋められているという「えな塚」、そして継体天皇を出産するときにもたれたという「もたれ石」を見学し、継体天皇の皇子安閑天皇を御祭神とする「安閑神社」を見学するのが主な目的です。

しかしそれ以外に近江高島は古墳が多く歴史的にも興味ある地であり、また中江藤樹の生地でもあります。ということで観光ガイド会長の三宅さんに観光の地近江高島を総合的に案内していただきました。

以下研修コースと詳細を報告します。

#### ①白髭神社

②大溝城天守台跡・高島郡支配の拠点として織田信長の甥織田信澄によって築城  
大溝は古代より陸路と湖路が交わる要衝、ほかに水城として信長の安土城、秀吉の長浜城、光秀の坂本城が存在した。

③水尾神社・河南社本殿の祭神は第11代垂仁天皇の第10皇子磐衝別命で御子 磐城別王が創建。第15代応神天皇の皇子の孫彦主人王と磐城別王の孫振り姫との間に生まれた三つ子の一人がのちの継体天皇である。



水尾神社

④鴨稻荷山古墳・高島郡ないでもっとも有名発掘された石棺内には装飾品・利器が石棺外には馬具・土器類が副葬 6世紀頃

⑤えな塚、⑥安閑神社(継体天皇の息子安閑天皇

が御祭神)、⑦田中王塚、⑧もたれ石、⑨三重生神社、⑩道の駅藤樹の里あどがわ、⑪陽明園、⑫藤樹記念館・近江聖人中江藤樹は陽明学の思想に共感、藤樹心学(良知心学)を確立。熊澤蕃山・淵岡山など輩出。

以上参加者は興味深くそれぞれの視点で研修コースをたどりました。(熊澤)

### 特集1 「京田辺の古木、銘木を巡る」

保存木プロジェクトで京田辺に残してほしい古木・銘木を選定している中、新しい試みとして昨年6月「京田辺の古木・保存木めぐり」と題して、市民対象のハイキングを実施しました。

京都市内の大展望を楽しみながら、松井～大住の田園地帯を歩き、植物と神社を巡りました。

\*コース・松井・大住地区

JR松井山手駅 8:40 出発→諏訪ヶ原公園→諏訪神社→天神社→虚空蔵谷川→月読神社→宝生苑→JR大住駅 12:30 解散

\*見学地

・諏訪ヶ原公園・メタセコイヤ、ユリノキ、アキニレ、4種類のサクラ、五葉松、

ムクノキ、ヤマボウシ、クヌギ、ヤマモモ、ケヤキなど

・展望台・京都市内～比叡山～鷲峰山

・松井・諏訪神社・アバマキ(250年)竹藪の中に群生(約20本)

・神社への登り口・エノキの巨木

・牛まわし跡(松井向谷16番地の1)

・天神社・モチノキ、カシとシイ類の巨木

・虚空蔵谷川・桜の名所(並木)

・月読神社・ヤマモモ(100年)、洋松、クスノキ、カシ・シイ類(白い幹の巨木)、南庭園の巨木

・宝生苑・シマトネリコ、カラクワ(100年)、ナンキンハゼ他

・JR大住駅西・センダンの巨木(数本)

・JR大住駅北・キリ(150年)、桃畑



諏訪ヶ原公園

・畦道に咲く花々…タンポポ、ホトケノザ、ムラサキ  
サギゴケ、タネツケバナ、ハルノノゲシなど

思いがけない所に古木や巨木が迎えてくれて  
参加者の皆さんに楽しんでいただきました。

今春にはJRハイク「新緑の花木観察と史跡を  
巡る」と題し、さらに発展させた企画を実施しま  
す。 (石橋)

## JRハイク「新緑の花木観察と史跡を巡る」

2015年4月11日(土)京田辺北部(松井～大住)

### 特集 2

#### 「京田辺市に京町屋がある！うそ？本当？」

『京田辺市に京町屋がある！』実は、昨年10月  
第一日曜に実施されました「茶まつり」にお連れ  
しました観光客の声です。

京田辺市の観光資源は京都市や宇治市は別格  
として、近隣の市町村と比べても明らかな優位性  
があるわけではありません。

わたくしたち京田辺市観光ボランティアガイド  
は8年前、たった7人でスタートを切りましたが、今  
や34人の陣容を整えるまでに成長しました。

そこで誘客のために新たな観光資源を発掘し  
ようと一生懸命に取り組んでいるところです。

タイトルの『京田辺市に京町屋がある！う  
そ？本当？』もそんな観光資源の発掘のなかから  
生まれたものです。

「茶まつり」の会場は皆様ご存じのように一休  
寺参道ですので、駅からの道中を見直したところ、  
なんと健康長寿のご利益のある棚倉孫神社(健  
康で八十八歳の米寿を迎えられた方がお礼に米  
枘を奉納)や耳に効験のあるお薬師さんがいらっ  
しゃる甘南備寺(お礼の耳石・歳をとると難聴の  
なやみがある)があるではありませんか！

さらに景行～仁徳天皇五代に仕えた伝説の超  
長寿の竹内宿禰が祀られている新神社(94歳の  
男性名奉納額あり)があるではありませんか、勿  
論、一休寺で88歳に亡くなられた一休さんも戦  
国乱世にあったことですので、現在でしたら百

数十歳の世界ランキングにカウントされることで  
しょう。

こんな健康長寿(長寿だけでは意味がない)づ  
くしの道を放っておく手はありません。わたくし  
たちは早速『健康長寿のパワースポット』と名づけ、  
最良の健康食品である玉露(これも健康長寿の  
源)を賞味できる「茶まつりの日」に照準をあて、  
『JRふれあいハイク』として観光客に紹介しだ  
したのが一昨年でした。

昨年は観光客を少しでも増やそうとして棚倉  
孫神社のふもとにある『木忠酒店の京都型町屋』  
の案内を新たに付け加えました。

京都町屋は世界的にも評価されていて、昨年  
の7月に権威のある米国の旅行雑誌『トラベル+  
ジャーナル』が京都市に世界の観光都市ランキ  
ング一位の栄誉を与えたのも、京都町屋あつてのこ  
とということです。

そんな京都町屋も現在残るほとんどは、幕末の  
『蛤御門の変』以降に再建された建物です。  
『木忠酒店の京都型町屋』は明治五年の築造で  
すので歴史的な価値は京都町屋と遜色がない非常  
に貴重なものです。また、そのかたちも厨子二階  
型という京都町屋の中でも江戸時代のかたちを  
継承したもっとも代表的なものです。

残念なことですが、この限られた紙面では、京  
都町屋・厨子二階に近似した『木忠酒店の京都型  
町屋』についての解説は不可能ですので、今年10  
月第一日曜『茶まつりの日』に実施します『JRふ  
れあいハイク』にお越しいただき、知られざる『健  
康長寿のパワースポット』ともども実際に見聞して  
いただく中で、世界に誇る『京都町屋』を是非、極  
めていただきたいと思います。 (小川)

#### 京田辺市の観光は 観光ボランティアガイドをご利用ください。

- \*1 グループ 15 名以下とし、  
1 グループにつきガイド 1 名  
が案内します。
- \* 諸経費 1,000 円を頂きます。
- \* お問合せは観光案内所まで。





## ガイド日誌

### 9月27日 JRふれあいハイク夏号 「初秋の甘南備山から平安京を望む」

JR大住駅9時20分集合。今回の参加者は73名。遠くは加古川市からの参加もある。好天の下、大住ヶ丘を通りそよかぜ幼稚園の横から虚空蔵堂へ。十三参りの解説の後には滝を目指す。数日前に整備した飛び石が役に立つ。こんな低山にあって、夏でも水が涸れない一の滝にしばし涼を求める。

野外活動センターでトイレ休憩をして甘南備山への尾根コースを歩く。八ヶ注意箇所も事前の対策が功を奏して無事通過。峠道からのコースは枝道が何本もあり、目印のリボンを頼りに進むのだが分かりにくい。道標が設置してあればまた来たいのに、と参加者の声。甘南備山からの展望は良く、京都方面が望まれる。平安京造営時、船岡山と甘南備山の白石を結ぶ線を中心軸(朱雀大路)として平安京が造られたという。展望台で昼食。下山はよく整備された雨乞いの道を通り、竜王ヶ谷川の連続する滝のうち吉やんの滝を鑑賞。山に別れを告げ、甘南備寺などに寄って午後3時頃全員無事にJR京田辺駅に到着・解散。

「天高し 額に汗す ハイクかな」 (古野)

### 10月24日 神戸歴史探訪会 「澤井家から一休寺へ」

昨年は雨で中止になり、京田辺市は初めてという神戸市歴史探訪クラブの総勢30名。今回は素晴らしい天気恵まれ、10時過ぎJR大住駅を出発し澤井家住宅に到着。澤井家の由来、澤井家を曇華院が5年間仮御所とされた時に建てられた「黒門」、四方竹(断面が四角の特殊な竹)等の説明をし、内部の話は管



甘南備山の白石



澤井家-上の間の床飾り



理者の亀村氏にお願いする。皆さん興味深く聞き入っておられた。

次に、大住車塚古墳を訪れる。この大住車塚古墳と同じような遺構と周濠をもつ大住南塚古墳が二基並んでいるのは全国的にも珍しい等の説明をする。月読神社・大住隼人舞の話をして昼食。一休寺まで京阪バスを利用する。一休寺では住職の熱のこもった説明に皆さん納得されていた。甘南備寺、棚倉孫神社にもご案内を考えましたが、時間がなくJR京田辺駅まで直行して解散。

(弓仲)

## 今後のJRふれあいハイク冬号のご案内

### ① 平成27年1月24日(土)

#### 『京田辺の古代史の謎を巡る』

JR大住駅9:30⇒堀切古墳⇒酒屋神社⇒観音寺⇒筒城宮伝承地⇒JR同志社前駅 15:00頃  
歩程 約11Km 参加費 300円 雨天中止

### ② 平成27年2月11日(水・祝)

#### 『竹の里京田辺 二月堂お水取りの竹送りを訪ねる』

JR三山木駅8:00⇒観音寺(竹送り)⇒山崎神社⇒竹取翁博物館⇒JR三山木駅 14:00頃  
歩程 約5Km 参加費 700円 雨天中止

\*いずれも、お弁当(600円)をご希望の方は予約時にお申し込みください。

## 今後の観光研修会のご案内

### ① 平成27年3月4日(水) 13:30~15:00

#### 『三山木廃寺と五大力尊』

講師：府立山城郷土資料館 田中淳一郎 課長  
場所：京田辺市中央公民館大ホール  
参加費：無料

お問い合わせお申込みは観光案内所まで。

Tel 0774-68-2810

Fax 0774-68-2817

Email info@kyotana.be